

<運営推進会議における評価>

【事業所概要】

法人名	有限会社 在宅ナースの会	事業所名	看護小規模多機能型居宅介護 ふくふく釜利谷
所在地	(〒 236 - 0045) 横浜市金沢区釜利谷南 2-4-22 白山ハイツ 1階		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

<ul style="list-style-type: none"> ・小規模多機能から看護小規模多機能への移行に伴い、職員の意識向上を図り事業所が地域での役割を果たせるよう日々努力しています。 ・ご本人とご家族の意向や要望を尊重し、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最後まで続けていくことができるよう、地域との連携・情報共有を常日頃から意識して取り組んでいます。 ・笑顔で来所して頂き、笑顔で帰宅して頂けるよう利用者様一人一人に寄り添った介護サービスの提供を心掛けています。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2019 年 11 月 30 日	従業者等自己評価 実施人数	(18) 人 ※管理者を含む
----------------	---------------------	------------------	------------------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2019 年 12 月 25 日	出席人数 (合計)	(8) 人 ※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input type="checkbox"/> 自事業所職員 (4 人) <input type="checkbox"/> 市町村職員 (〃 人) <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 (1 人) <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者 (1 人) <input type="checkbox"/> 利用者 (1 人) <input type="checkbox"/> 利用者の家族 (1 人) <input type="checkbox"/> 知見を有する者 (〃 人) <input type="checkbox"/> その他 (〃 人)		

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)			
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)		
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)		
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)		
III. 結果評価 (評価項目 42～44)			

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	改善計画（案）	運営推進会議における意見等	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<p>①防災への意識が年々高まってきており、職員間で共通認識が持てるようになってきている。</p> <p>②毎朝のミーティングで情報共有がされており業務が円滑に行われるよう努力している。</p> <p>③分からないことや不安な事を相談できる環境づくりをしている。</p> <p>④決まった時間に休憩が取れないこともあるが休憩が取りやすい環境にはなっている。</p>	<p>①災害に対して事業所の置かれている環境に適した具体的な対策の検討と訓練の継続。</p> <p>②情報提供・情報共有が円滑に行える環境づくりに努める。</p> <p>③職員の声掛けの徹底。</p> <p>④職員の休憩時間を計画的に確保し心身ともに休まる環境を作る。</p>	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	<p>①柔軟な組み合わせでサービスの提供がされている。</p> <p>②計画の内容や生活上の留意すべき点について利用者・家族に説明し理解を得ている。</p> <p>③お互いの専門性を理解し合い、情報共有を行う話し合いの場が多く持てるようになってきている。</p> <p>④サービスの特徴は一回の説明では理解が困難なため疑問を感じたときはその都度説明を行っている。</p>	<p>①研修参加や資格取得により専門的で質の高いサービス提供を行う。</p> <p>②目標達成に向けた計画をさらに意識して目標達成をするとともに、常に見直せる環境づくりをしていく。</p> <p>③専門性を意識した役割分担が行えるよう効果的かつ効率的なサービス提供を目指す。</p> <p>④利用者・利用者家族がサービスの概要・趣旨をしっかりと理解できる説明を心掛け、安心して利用して頂けるようにする。</p>
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	<p>①事業所として地域の役割を果たせるよう、職員の意識向上が見られる。</p> <p>②休日夜間を問わず、緊急時に対応できる体制を作り上げている。他機関の緊急連絡先もわかりやすく申し送られている。</p>	<p>①看護小規模多機能型居宅介護サービスの地域での関わり、役割を意識して多職種連携の充実を図る。</p> <p>②緊急時の対応方針を多職種で情報共有できる体制づくりをしていく。</p>
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	<p>①事業所としての役割について職員間での情報共有ができるようにしている。</p> <p>②できる限り地域の催し事に参加し積極的な活動を志している。</p>	<p>①地域への啓発活動を積極的に行えるよう、職員の意識向上と事業所の役割を深く理解していく。</p> <p>②継続的に地域行事に参加し、事業所の情報発信をすると共に地域と協力して安心して暮らせる場所作りに努める。</p>

	<p>③事業所としては受け入れ態勢を構築しており、状況に応じてサービスの提供ができるようになっている。職員も自信を持って対応できるよう資格取得に励んでいる。</p>	<p>③医療ニーズの高い利用者でも積極的に受け入れができる体制づくりを継続して、安心してサービスを受けられる事業所を目指す。</p>
<p>Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)</p>	<p>①事業所として地域への役割、利用者・家族への役割を果たせるよう職員が理解できる体制の構築を図っている。</p> <p>②利用者・家族の介護に対する不安や負担を考慮し、安心して自宅での生活を継続して行くことができるよう努めている。終末期においても在宅生活が継続できる、柔軟なサービスの提供を心掛けている。</p>	<p>①事業所の役割を職員全員が理解できるよう社内研修の実施や外部研修への参加を積極的に行っていく。</p> <p>②サービスの導入によりどのような効果があるのか、また期待されているのかを意識しサービス向上に努める。</p>

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
I 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	16	2	0	0	医療ニーズの高い方が増えてきているので、これからも大変になってくると思います。	理念が玄関に掲示してあり職員以外でも見る事が出来るようになっている。
		[具体的な状況・取組内容] ・会社としての理念、事業所としての理念を掲げ実践している。 ・理念に基づきご本人、ご家族の要望に沿ったケアを実践している。 ・入口の見やすい場所に理念を掲示し理念の共有を行い、ミーティングでも目標を定め実践に繋げている。 ・重要事項にも記載され、契約時に説明がなされ、その理念に向かったのサービス提供に努めている。					
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	16	2	0	0	表から見ても中の雰囲気は全くわからない。入ってみると本当に明るい雰囲気だった。	事業所の理念においては日常会話でも「ふくふくとした笑顔」のキーワードが出るほど浸透している。
		[具体的な状況・取組内容] ・管理者会議、社内研修時にも事業所の役割、サービスの充実を話し合い、職員への周知がされている。 ・利用者にあったケアを提供し本人にとって居心地の良い環境づくりを行っている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の業務担当表にも理念が印字されており日々再確認ができいつでも笑顔で対応できるよう心掛けている。 ・理念を掲げる事で、利用者個々に合ったサービスの提供に努めている。 ・利用者・家族に寄り添い、居心地の良い場所になるよう実践している。 ・ミーティングを通して職員が方針を共有し実践している。 					
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	15	3	0	0		
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> <ul style="list-style-type: none"> ・各自のレベルに合わせた育成計画を作成している。 ・新人研修・社内研修・外部研修（資格取得含む）への計画がされている。 ・年間を通じて様々な研修やミーティング等を行い、技術向上の取り組みがされている。 ・業務上必要な研修、資格取得に向けた育成計画が作成されている。 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	15	3	0	0		看護・介護職の為の資格取得や外部研修参加が積極的に行われている。研修の参加依頼や募集が届いた際は、関係職員に周知され参加を促している。
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門職に合わせた研修参加が計画的に行われている（喀痰吸引研修・認知症実践者研修・初任者研修・CVポート技術研修・褥瘡ケア研修等） ・ 必須研修を含む社内研修を受けられるよう業務の調整が柔軟に行われている。 ・ 喀痰吸引研修が毎年計画的に進んでおり資格取得者が増えている。 ・ 医療機関が開催する研修会（勉強会）に積極的に参加できる機会を設けている。 					
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	16	2	0	0	家族としても連絡ノートを活用しなければいけないのですがほとんどコメントを書かずに申し訳ないと思っています。看護師さんとケアマネさんがしっかりと話せていると思います。	情報共有は全職員の共通認識として日々声掛けが行われている。
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎朝のミーティングで情報の共有をし、申し送りノートによる確認も行えている。 ・ 利用者の状態変化や新規利用者の情報を共有している。 ・ 毎朝のミーティングと必要時に情報を共有する機会が設けられている。 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	15	3	0	0	<p>会議後にはすぐに議事録が作成され事業所内での情報共有がなされている。</p> <p>運営推進会議に出てみたいという職員からの声も聞かれている。</p>	
<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加して頂いた利用者または利用者家族からの要望は迅速に反映できるようにしている。 ・地域からの情報提供（特に防災関連）は利用者の不利益にならないよう心掛けている。 ・サービスに満足しているお言葉を頂いたときは更なるサービス向上に繋がるようサービス内容の確認、他者との比較検討を行っている。 							
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	10	8	0	0	<p>介護職の人員確保が大変だというお話は各方面から聞きます。事業所のご苦勞があるかとは思いますが頑張っ て頂きたいです。</p> <p>休憩時間が交代で取れるようになっており職員の休憩への意識も浸透しているが、全職種が平等に休憩が取れていない時もある。</p> <p>人材不足のなか、職員が協力し合っ て職場環境づくりに励んでいる。</p>	
<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>身体状態や家庭の事情による勤務形態を考慮したシフト変更が可能である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員家族に急な体調不良が生じても勤務を調整できる体制があり安心して働く事が出来る。 ・有給の取得や報酬の改善などで職員の意欲向上に繋がっている。 							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングで業務の改善などを話し合う事ができる。 ・職員間で互いにアドバイスをし合い声掛け等を密にし、より良い職場環境づくりをしている。 ・職員の能力向上のため管理者・専門職などから指導やアドバイスを受けられる環境がある。 ・できる限りの勤務を取り入れている。シフト決定後でも勤務の調整が可能で安心できる。 					
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための希望環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	16	2	0	0		職員同士で情報共有する方法が多数ありコミュニケーションが図りやすい環境にある。
		[具体的な状況・取組内容] <ul style="list-style-type: none"> ・毎朝のミーティングで利用者の内服・処置の変更、状態について随時報告がされ記録を残し職員間で共有する事ができている。 ・支援の変化があった際には随時速やかにミーティングで取り上げ、状況を把握し職員間での共有がされている。 ・業務中も必要に応じて報告がなされ申し送りをを行い情報共有している。 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	16	2	0	0	<p>事故報告やヒヤリハットをしつかりと検討することで次の事故が防げるはずなので、対策は常に考えて欲しい。</p>	<p>ひやりはつの報告のみに踏みとどまらず、検討会の実施までを一つのプロセスとして捉えるように意識改善に努めている。</p> <p>事故が起こってしまった際には遅滞なく横浜市への報告を行っている。</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人情報 は施錠可能な書庫に保管され管理されている。 ・ 運転する職員には研修や交通安全に関するファイルがありいつでも閲覧できるようになっている。 ・ 各マニュアルが整備され、他事業所からの事例をもとに対策を講じている。 ・ ひやりはつと報告、改善策の検討をし事故防止への取り組みを行っている。 ・ ドライブレコーダーの設置による安全運転の意識付けが行われている。 ・ 防災訓練、避難訓練による具体的な対応方法が共有されている。 ・ 感染症予防の研修により、職員間で共通の認識を持ち対策を講じている。 ・ 防災委員、研修委員、安全運転管理者による対策が講じられている。 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	16	2	0	0	災害時に心配な方のアクシデントを考えると地域との繋がりが大事だと思った。	社内研修等により災害への意識を高めマニュアルの見直しを検討している。 緊急時・災害時の避難に関して現実的な行動を取るための対応を事業所だけではなく地域での共通認識となるとよいのではないかと。
		[具体的な状況・取組内容] <ul style="list-style-type: none"> ・防災委員がおり、定期的に委員会が開催されマニュアル等の確認が行われている。 ・物品の備蓄が整っている。 ・台風時は各利用者に連絡を取り、自宅待機か事業所避難かを早めに明確にし二次災害を防いでいる。 ・消防訓練では、地域住民の方にも参加して頂き少しでも情報共有が出来るよう努めている。 					
II サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている	16	2	0	0	老々介護なので非常に助かっています。	家族の介護力、経済力をも含めたアセスメントの実施が必要。
		[具体的な状況・取組内容] <ul style="list-style-type: none"> ・利用者、家族等のアセスメントを行い、要望に則ったサービスが提供されている。 ・どんなことでも相談が出来るよう24時 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<p>間連絡が取れる体制となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の生活状況や介護状況に応じて計画の作成がされており、宿泊や通いのサービスを柔軟に取り入れている。 ・通いの時間だけではなく自宅での生活、家族の介護力、就労状況によるアセスメントが行われている。 ・ケアマネや看護師が自宅での様子を積極的に聞き取り把握し、家族等を含めたアセスメントを行いケアプランの作成に役立てている。 					
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種間で共有されている	16	2	0	0		<p>色々な方法で両職種間の情報共有が行われている。</p> <p>朝のミーティングは有効かつ効率的に使われるようにしなければならない。</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職からの問題提起やカンファレンスを行い、問題解決への取り組みを実践している。また看護職より注意する点等介護職に申し送り共有している。 ・介護、看護職それぞれに得た情報や様子・異変等は速やかに報告し話し合う事により共有ができています。 ・お互いの専門性を活かし情報共有がされている。 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	16	2	0	0	はっきりとした意見が言えない人の考えを汲み取ることには非常に困難だと思いますが良くやってくれていると思います。	定期的な訪問により利用者や利用者家族の要望を踏まえた計画が作成されるようにしている。
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・利用者、家族の考えや要望をミーティングによりケアマネから共有している。 ・利用開始前に家族の状況や考えを聞き計画に反映させている。 ・本人、家族の意向を確認・把握しその目標に向かった計画が作成されている。 ・利用者本人の意向を重視したうえで家族等の考えを適切に把握しそれに基づいたケアプランが作成されている。					
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	15	3	0	0	できる事が少ない中、色々な事を考えてやってくれているので助かっています。	事業所内にはいない専門職（言語聴覚士・理学療法士）のリハビリにおいては希望者が多いが、制度上自己負担額が大幅に増えてしまい導入を控えてしまう場合もある。 家族の病状に対する認識が低い場合もあり、看護職による説明が不可欠である。
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・ケアマネにより利用者の能力を活かし心身機能の維持回復を重視したケアプランが作成されている。 ・心身の機能維持の為、車いすに頼らず無理のない範囲での歩行を心掛けている。また利用者・利用者家族の理解を得ている。 ・生活全般を捉えた「自立生活」を目指した計画が作成されている。 ・個々の心身機能に応じ生活機能を維持					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<p>向上するための、安全に配慮した計画を作成している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状の機能を把握し利用者が尊厳をもって生活が続けることが出来る計画としている。 ・利用者に必要なリハビリを実施した計画が作成されている。 					
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	14	4	0	0	<p>状況の変化をいち早く把握するには多職種の連携が不可欠となってくると思います。またご本人・ご家族への十分な説明が必要と考えます。</p>	<p>状況変化の予測とリスク管理は日常的に行い、主治医に報告・相談・事前指示をもらうなどケアマネとともにやっている。</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変化に伴うリスク管理をしている。 ・状況の変化を予測し異常の早期発見に努めリスクを最小限にとどめるようにしている。 ・介護、看護職それぞれが異変等の状況変化を報告し合い共有することにより予後予測を踏まえた計画作りが可能となっている。 ・利用者の状況変化が予測される時は家族と連携し予後予測できることを話し、バイタル測定や内服方法などを計画し実施している。 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	14	4	0	0	ほとんどこちらで過ごしているので体調の変化にはいち早く気付いてもらっています。対応も早く助かっています。	早期の把握は出来ているが、迅速な反映には繋がっていないので、計画に反映できるとよい。
		[具体的な状況・取組内容] <ul style="list-style-type: none"> ・ミーティング等で利用者の状態や状態の変化について早期に情報が共有され計画の変更に適宜反映が行われている。 ・サービスを提供する中でアセスメントを取り利用者の状況に応じて早期に計画に反映させている。 ・各職員が小さな変化を見逃さないよう日々の業務に取り組んでいる。状況の変化に応じて主治医への連絡、各職種での情報共有を行い反映がされるよう努めている。 					
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	13	5	0	0	多少の違いはあっても、要介護度に沿ったサービスの利用ができています。	訪問に限らず、送迎時や配食サービス利用時にも家族の状況を把握できるように努めている。状況の変化が予測される場合は全職員に周知している。
		[具体的な状況・取組内容] <ul style="list-style-type: none"> ・変化する生活状況を把握する為、訪問や電話連絡を行っている。 ・通い、泊りの利用が多いが適時訪問し家族から家庭での様子を伺い、生活状況の変化を把握している。 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<ul style="list-style-type: none"> 定期的な訪問により偏りのないサービス提供を心掛けている。また家族の状況変化の把握にも努めている。 介護、看護職が訪問時に家族等を含めた居宅での生活状況や状況の変化を積極的に把握し報告を行いケアプランに反映できるようにしている。 看護職による訪問看護を提供する際や送迎時において居宅での生活状況を把握し情報共有をしている。 					
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	15	3	0	0	<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> 状況の変化は主治医や薬剤師と連携している。朝のミーティング時の情報は夜勤者へ情報共有が行われるよう徹底している。 他職種との情報はミーティング・申し送りノートを使って共有されている。 医療機関のアプリの活用や情報共有の効率的な方法を日々考え行われている。 毎月報告書を作成し主治医へ利用者の達成状況を報告している。それ以外でも変化があれば都度連絡をしている。 	事業所の役割を考え、迅速な情報共有が行われ目標達成に向かって職員が意識できている。

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	16	2	0	0	看護職と介護職の隔たりなく、協力して動いてくれていると思います。家族としてはありがたい限りです。	お互いの役割を理解し尊重し合う事により利用者に寄り添ったサービスの提供が可能となっている。忙しい時は声を掛け合い、職種の枠にとらわれずに業務に当たっている。
		[具体的な状況・取組内容] <ul style="list-style-type: none"> ・各職種の役割を理解し柔軟な対応を行っている。 ・お互いに専門性を活かした役割分担を行いつつ業務の状況に応じ柔軟に業務分担をしている。 ・介護職は入浴・食事提供、服薬の実施、レクリエーションを、看護職は投薬管理、傷の処置など専門性を活かした役割を行っている。 ・専門性を活かしつつも、お互いの壁を作ることなく役割を果たすことができている。 ・医療的ケアは看護職、レクリエーションや入浴介助は介護職を中心に行っているが状況に応じてお互いの補助に回ることができる環境にある。 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	16	2	0	0		お互いに協力し合っているので、情報共有もしやすい環境が整っている。
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> <ul style="list-style-type: none"> ・職種を問わず状況の変化には敏感になっており都度、情報共有が行われている。 ・利用者の状態変化時の対処方法を共有している。また、対応策を検討し実施後、評価を行い次につなげている。 ・毎朝のミーティングで情報共有し話し合い、対応策を検討している。 					
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	15	3	0	0	著しい体調変化があった時にどうしていいかわからない時、誰に聞いても話が通じていたので、落とし込みができていたのだと感じていました。	情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かし、介護職への落とし込みを行って互いに病状の把握に努めている。
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の病状、感染症の有無などの情報はミーティング時に看護職より申し送られ共有されている。 ・病名、病状、現状から説明し利用者の子後予測できること、また注意することなど情報提供している。 ・看護職の情報提供や提案は常にされており、それによって介護職からの情報も集まりより良いサービスの提供またはサービスの改善がされている。 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	15	3	0	0	正直、完全には分かっていませんが、小さなことから教えてくれているので少しは理解しているつもりです。 言葉が難しかったりするので何度も説明が必要になると思います。	介護保険制度を初めて利用する方も増えており、管理者・ケアマネにもいかに分かりやすく説明できるかを心掛けている。
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> <ul style="list-style-type: none"> ・サービスの特徴は1回の説明では理解が困難なため疑問を感じたときはその都度説明を行っている。 ・見学、契約時において管理者・ケアマネから利用者、利用者家族に説明を行いサービスの変更、法律の改定時には都度説明に伺い理解を得ている。 ・ケアプランにおいてはケアマネから説明が行われ日々のケアにおいては適宜サービスの趣旨等を説明している。 					
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	16	2	0	0		専門用語の使用をなるべく控え、わかりやすい言葉で理解して頂いている。
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネや看護師よりわかりやすく説明が行われ理解を得ている。 ・計画の内容や生活上の留意すべき点について利用者等に説明し理解を得ている。 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<ul style="list-style-type: none"> ・看護計画を作成し実践している。内容の説明を看護師より行い理解を得ている。 ・ケアマネから説明が行われており、必要に応じて看護職からの説明を行うことで理解を深めている。 ・理解が得られるまで何度でも説明を行っている。 					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	15	3	0	0	<p>介護者の高齢化に伴い、介護指導に時間がかかることもあるのではないのでしょうか。医療処置があつたりすると家族は大変だと思います。</p>	<p>退院後から利用の方は入院中にある程度の手技を指導され在宅に戻るが、サービス開始後も看護師の訪問時に取り扱いの確認や理解度を評価している。</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護職による説明が十分になされているが、なかなか理解が得られない場合は訪問診療時や受診時にも説明をしていただけよう医療機関と連携を取り、理解を得られるようにしている。 ・家族等が行うケアの方法を自宅訪問、または事業所に来ていただき、指導・助言を行っている。 ・家族と一緒に処置やケアを行いながら説明をするようにしている。また理解が得られているか手技を確認している。 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	16	2	0	0	十分にやってもらっています。家族から伝えなくても提案をしてくれたりしているのでお任せしています。	✓ 日頃からの会話で要望や意向を聞き出すことにより、サービスの提供に反映をしている。
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・利用者、利用者家族等からの相談や意見に傾聴し要望や意向を把握しサービスの提供に反映している。 ・早い段階からその都度アセスメントを行い、情報共有することでサービスの反映に繋がっている。 ・本人の意思表示がない場合は、家族と看取りについての話し合いを設け、サービスの反映を行っている。 ・具体的な要望の把握に努め、サービス提供に反映できるようにしている。 ・終末期における希望、意向については面談を行い把握に努めている。					
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている	14	4	0	0	様々な選択肢があることを説明してもらっている。施設入所を進めているが、きちんとした対応をしてくれていると思います。	特に状態変化が大きい時は家族の戸惑いや不安が強く、在宅での対応が可能かどうかの相談が多くなる。 不安を傾聴し、主治医の意見を交えながら対応方針を決定していく。
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・ミーティングで話し合いを行い、ケアマネが利用者等と相談し対応している。 ・日々状態が変化する中で、対応策の検討が話し合いにより行われている。 ・様々なリスクを家族に説明し急変時の対応方針や看取りの場所を相談し共有し					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<p>ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病状に合わせた予後予測をし、利用者等との相談を随時行い、ミーティングで情報共有をしている。 ・認知症の利用者で摂食障害を起しし入退院を繰り返した場合、リスクを説明したうえで予後予測の対応方針について検討している。 ・在宅生活が本人の状況により継続することが難しくなると想定される場合は随時話し合いを設け対応策を検討している。 					
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	15	3	0	0	<p>とても難しい課題だと思いますがこれからの時代は「終活」といった言葉があるようにご本人・家族にとっても大切なことなのでしっかりと話し合いが望ましいと思います。</p>	<p>看護職からの説明だけでは不十分な時には主治医に説明して頂き、その内容を記録している。</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者や利用者家族には看護職から丁寧に説明が行われ記録は日々の様子等を個別ファイルに記入をしている。 ・段階に応じて説明を行い、その都度記録を残している。 ・終末期ケアにおいて利用者家族等と予後についての話し合いを行い説明し記録を残している。 ・状況に応じた経過説明が行われ、幾度にもわたり話し合いがされその都度記録 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		を残している。 ・看護師から説明が行われ家族の意向を確認している。内容は記録を残している。					
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	16	2	0	0	<p>退院の前からお世話になっています。病院や訪問診療医とのやり取りも率先してやってくれているので何も言うことはないくらいです。</p>	<p>退院前のカンファレンスへの参加は不可欠で余程の理由がない限り参加している。 多職種の関わりを持つことで円滑な在宅生活の移行が可能となり、また支援の幅も増えてくる。</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退院前には利用者のADLに合わせるため福祉用具事業者と自宅訪問を行い在宅にスムーズに移行できるよう環境を整えている。 ・ケアマネと看護師が退院前カンファレンスに参加し情報提供を受けケアの方針を検討している。退院後も必要に応じて病院の相談室と情報を共有し連携を取っている。 ・退院前カンファレンスへの参加と退院後の主治医との連携によりスムーズな在宅生活への移行を支援している。 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができる	12	6	0	0		緊急時の対応方針等はアセスメントの時点から話し合い、連絡先や対応方法を明確にするようにしている。 緊急時に対応できる体制は整っているが発生前においては対応方針が定まっていない利用者もいる(家族等が複数いる場合に方向性が定まらない事例もある)。
		<p><u>【具体的な状況・取組内容】</u></p> <p>看護職やケアマネが主治医と緊急時の方針等を共有している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての利用者の連絡先リストを作成し緊急時の対応について主治医と家族に相談の上決定し記録されている。 ・急変時における対応を利用開始前から利用者等と話すことにより主治医との連絡体制が取れており共有することができる。 ・利用者、利用者家族の変化による対応方針を主治医へ相談・連絡を行っている。 ・状態変化があったときには主治医に報告し急変時の対応等を相談・確認している。 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	16	2	0	0		医療機関に連絡が付かない時は事業所に連絡を頂き、迅速な対応を取ることにより利用者、家族の不安を軽減する事ができている。
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・休日夜間を含め、24時間連絡が取れる体制になっている。 ・地域医療機関との連携が図れている。 ・緊急時の対応を予め家族等と話すことにより迅速に対応できる体制を整えている。 ・24時間急変時等の対応について把握し共有をしている。					
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	16	2	0	0	釜利谷にはたくさんの資源があるので、地域の方々を巻き込んで行くといいのではないのでしょうか。	地域ケアプラザの職員、民生委員などの方々に出席して頂き、情報提供をしている。 地域の協力体制の構築が不可欠でお互いが地域の中で何ができるのかの共通認識を持てるとサービスの向上に繋がっていく。
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・二か月に一回運営推進会議を行って包括や民生委員やご家族等にも参加していただき情報提供している。 ・ボランティアと利用者の交流の場を提供している。 ・相互において情報提供、提案を行っている。 ・運営推進会議において出席された方々への情報提供が行われている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている	15	3	0	0		会議後には速やかに議事録が作成され閲覧できるようにしてある。
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・議事録を取り誰でも閲覧できるようにファイルしている。 ・議事録は職員が確認できるように保管されており、会議翌日にはミーティングで情報共有している。					
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	8	9	1	0	ケアプラザや町内会でのサービスの概要を説明する機会が設けられるのであれば是非ともお願いしたい旨をお伝えする。パンフレットやインターネットではわかりづらい事が多い。	地域行事には極力参加をし、サービスの周知を図るようにしている。専門職であっても看護小規模多機能型居宅介護のサービスの概要の理解が浅いので今後も啓発活動を活発にしていかなければならない。認知症という言葉は浸透しつつあるが地域との実際の関わりは少ない。
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・地域での催しや他事業所の運営推進会議や研修等の参加により啓発活動を行っている。 ・できる限り地域の催し事に参加し積極的な活動を志している。 ・事業所として町内防災訓練に参加（釜利谷南小学校） ・RUN伴実行委員会主催のイベントに参加し事業所の概要を発信。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	0	1	1	16		事業所規程の看護師の確保はできていても、外部の訪問を積極的に受け入れる余力が現時点では困難な状況にある。地域での役割を果たす上でも体制を強化していくよう努める。
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・現在登録者以外の利用はない。 ・受け入れの体制は整っているが現時点での積極的な動きは取っていない。					
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	18	0	0	0	実際、必要な方は多いのですか？ 返答：多くはありませんが数名の方が常時吸引を必要とされている方がご利用されています。	登録特定事業者としての登録を今年の6月に受け、受け入れ態勢を強化している。 職員も資格取得をすることで、安心し、また自信をもって業務に従事している。
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・喀痰吸引の研修を修了している職員がおり積極的に受け入れている。 ・喀痰吸引を必要とする要介護者を受け入れる体制が整っており利用して頂いている。また事業所登録も行っている。 ・計画的な喀痰吸引研修の参加により年々資格取得者が増えている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	4	6	2	6	人工呼吸器を装着して在宅生活を送られる方が少なくなっているのではないのでしょうか。	受け入れ実績が今のところ生じていないが、別事業所での受け入れ事例の情報提供・情報共有をすることで受け入れ体制を整えている。
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・受け入れ体制は整っているが現在は利用ケースがない。 ・人工呼吸器を必要とする要介護者を受け入れる体制は常に整っている。 ・受け入れ体制は整っており職員の受け入れの意識もあるが現時点で依頼が発生していない。依頼があれば積極的な受け入れが可能。 					
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	13	5	0	0	様々な施設での看取りが行われていますが、実際在宅で看取りを行うとなるとご家族の負担が大きいため看護小規模多機能の役割がこれからも重要になってくると思います。	主治医・看護職・介護職と連携が取れる体制にあり積極的に受け入れている。 看護小規模多機能としての役割を職員全員が意識している。
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	4	14	0	0	<p>まだまだ浸透しきれない言葉なので、地域としても啓発活動が続けていかなければと感じています。</p>	<p>管理者・ケアマネは把握に努めているが、全職員への周知はできていない。 社内研修や管理者の外部研修での情報を落とし込むようにしている。</p>
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	15	3	0	0	<p>色々なところでこちらの送迎の車を見るので、金沢区内をカバーできていると感じています。</p>	<p>金沢区内全域をカバーできており依頼があった時には迅速に対応ができる体制を考え、サービス提供に繋げている。</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		を対象とし支える核としての自覚を持ち積極的にサービスの提供を行っている。					
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている	12	6	0	0	お互いに意見交換の場を設けられるといいと思います。町内会としてはいつでも協力できる体制は整えています。	課題提起にまでは及ばないが多職種連携の難しさや効率化を話し合う場がある。
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・運営推進会議でも地域関係者と災害時の問題点や課題点を話し合う事により情報共有がされている。 ・必要に応じてボランティアの方や他業種の方と連携をとり意見交換の場を持つことが出来ている。					
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている	12	6	0	0	指導してもらっていますが自分はほとんど覚えられず迷惑をかけていますが、やれることは頑張っていきたいと思っています。	近隣住民に対しては防災訓練を通じて関わり災害時の援助について話し合いが行われている。 排泄や排泄自立への支援の取り組みを継続している。 独居生活の利用者が安全に過ごすための環境を整えている。
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・近隣住民に声を掛け、異変があった時には事業所に連絡を頂くようにしている。 家族等への介護指導を適宜行っている。 ・介護者へ福祉用具の使用方法をアドバイスする事により介護力の向上に努めている。 ・家族に在宅で生活していくための介護の知識(服薬や排泄)を伝え、介護力を引き出す取り組みをしている。					

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている（7名） 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている（8名） 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている（3名） 4. 利用者の1/3には満たない（0名） <u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・看護計画、介護計画が作成されている。 ・病状、心身機能によっては不十分なところもあるが概ね目標達成を果たしている。		看護計画、介護計画の状態変化に応じた見直し、評価が十分でない利用者もいるので今後の課題点にしたい。 日頃より利用者、家族との円滑なコミュニケーションを図り情報共有を行う事で目標達成に繋げている。
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている（17名） 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている（1名） 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている（0名） 4. 利用者の1/3には満たない（0名） <u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・24時間連絡可能な体制があり必要があればすぐに訪問をしている。ほぼ全ての利用者が在宅での療養生活を継続出来ており安心感を得ている。		利用者、家族、主治医との連携が取れており情報の共有も出来ている。在宅生活を安心して継続していけるよう支援を行っている。

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		<ul style="list-style-type: none"> ・医療ニーズの高い利用者等への指導助言はさることながら、いつでも相談できる環境づくりに努め、安心感を得ている。 ・在宅での医療について適切なアドバイスをする事や緊急時に即時連絡できる体制により安心感を得られている。 		
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての利用者について、達成されている（17名） 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている（1名） 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている（0名） 4. 利用者の1/3には満たない（0名） 5. 看取りの希望者はいない（0名） <p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看取りを希望する家族に対しては必要時家族との話し合いを行い看取りに向けての説明を行っていることで安心感が得られている。 ・家族間と状況変化等情報交換を密に取り連絡も取れるようになっている。 ・不安なことを一つ一つ丁寧に説明しその不安を取り除く事により在宅での看取りを理解して頂き、安心感が得られるようにしている。 	元々、看取りを視野に入れた状態での相談だったので覚悟は出来ていましたが、ここまで回復するとは思いませんでした。看取りについては十分な話し合いができていますと感じています。	サービスの導入により状況変化に応じた主治医との連絡や必要時に迅速に連絡が取れる体制を構築している。 看取りの選択肢が「自宅」だけでなく「ふくふく」でもできるという安心感から在宅生活を続けていられるとご家族からのご意見もある。

